

このリーフレットをつくった

社団法人和歌山県青少年育成協会って？



次代を担う青少年の健全育成を図るため、様々な取り組みを行なっています。

また、県内すべての市町村に、青少年の育成活動を推進するために設置されている市町村民会議と連携しています。

こんなことをしています。

■少年メッセージ

中学生が日常生活の中での実体験などを通して得た自らの考え方や将来の夢を発表することにより、大人が今の中学生の考え方を深く理解するとともに未来を担う若い世代の育成を図っています。

■〈家庭の日〉運動の推進

毎月第3日曜日は〈家庭の日〉

家族みんなが温かく心ふれあう機会を持ち、明るく楽しく家庭づくりを進めるきっかけにと、和歌山県では毎月第3日曜日を家庭の日と定めています。

●絵画作品募集

県内に在住または通勤・通学している小学生以上の方から、「家庭・家族」をテーマにした絵画を募集し、優秀作品は表彰するとともに「家庭の日」の啓発等に活用します。

●家族ふれあい優待制度

「家庭の日」などに優待券で協賛店舗や施設を利用すると各種サービスが受け取ることができます。詳しくは当協会のホームページで！

《編集委員》

米澤 好史 和歌山大学教育学部教授
室 みどり 和歌山信愛女子短期大学教授
龍野 直樹 県教育委員会生涯学習課社会教育主事
大藪 憲一 有田振興局地域振興部主任
稲垣 峰佳 県青少年・男女共同参画課副主査
植村 佐和子 和歌山市保育所管理課保育専門員

●「家族そろって新入生」リーフレット作成

子どもと一緒に学んで育つ親になるためのリーフレットを作成し、県内の小学校入学前の年長年齢児童の保護者全員に配布しています。

＜平成21年版＞の声・感想が届いています。

- ◆親としての行ないや、わかっていてもできていないことを見直したり振り返ったりすることができた。
- ◆親子のコミュニケーションをとるきっかけがわかった。
- ◆気がつかないことや改めて大切だ、と思ったことがいっぱい書かれていて「ドキッ」とさせられた。
- ◆子どもは本当に自分たち大人のことをよく見ている。見本になっていかなくては!!

その他いろいろ

■リレー式次世代健全育成事業

青少年の家で、様々な体験活動を通し、明日の青少年リーダーを養成！詳しくは当協会のホームページで！

他にも青少年のリーダーを育成する事業や和太鼓体験教室、また、指導者の資質向上のための事業や青少年団体の活性化など、いろいろな事業に取り組んでいます。

編集後記

このリーフレットは、親子で小学校の環境にスムーズに適応できるよう役立てていただきたいと平成19年に初めて作成し、今回で4冊目になりました。「今まで何気なく子どもに接していたことでもこんな落とし穴が!」「こういう関わりをすれば良いと思いついてほしい」という想いで作成しています。これからの子育てのお役に立てばうれしいです。

毎月第3日曜日は〈家庭の日〉

家庭の日啓発促進事業

家族そろって新入生

元気な紀州っ子を
応援します!



この「家族そろって新入生」は、こどもの小学校入学にあたって、おとうさん、おかあさんに特に大事にしてもらいたい〈ココロ〉〈からだ〉〈まなび〉の3つの分野を取り上げました。

こどもが家庭の外に世界を広げ、急速に成長するこの時期は、親としてもこどもの変化に驚き、とまどうことばかりだと思います。

おとうさん、おかあさんとこどもを応援するために作成したこのリーフレットで、家庭での教育やしつけに関して、家族そろって考えてみてください。

仕事と家庭の調和を大切に、家族がふれあう時間をたくさんとって、子育ての時間に喜びや楽しみを持てるようにしましょう。

社団法人和歌山県青少年育成協会

発行 平成22年2月 社団法人和歌山県青少年育成協会 〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛9階
TEL:073-435-5236 FAX:073-435-5238
ホームページアドレス: <http://wpyda.org/>

※このリーフレットは、赤い羽根共同募金配分金を受けて作成しています。

ココロ

お子さんは自分自身のことを好きでしょうか？

親子でチェック

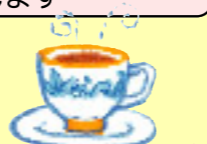
お互いを認め合うための チェックリスト



チェックリスト I まず、お子さん自身に、質問してみてください。
お子さんが、そうだと答えたものに○、
ちがう、あるいは、わからないと答えたものに×をつけてください。

番号	○・×	チェック項目
1		おうちにいると、ほっとします
2		じぶんはいろんなことができるとおもいます
3		あそぶことが好きです
4		おともだちにやさしくできます
5		えほんが好きです
6		小さい子やいきもののおせわが好きです
7		おとうさん、おかあさんは、わたしのきもちをわかってくれます
8		おとうさん、おかあさんは、うれしいときいっしょによるこんでくれます

チェックリスト II 今度は、お子さんとの日頃の接し方について、チェックしてみませんか。
あてはまるものに○、あてはまらないものに×をつけてください。
ぜひ、お子さんといっしょに、こうしてる？とか聞きながらやってみてください。



番号	○・×	チェック項目
1		こどもの話すことをどんなことでも「そうだね」と受け止めている
2		こどもの苦手なところを克服させるようにしている
3		こどもといっしょに考えることを大切にしている
4		こどもにわかりやすいようにきょうだいや友だちと比べて叱っている
5		こどもの得意な面を伸ばすよう心がけている
6		こどもが望んだことは何でもそのとおりにしてあげる
7		こどもが悪いことをしても、こどもの言い分をしっかりと聞くようにしている
8		こどもにはしゃべらせなくても、こちらの伝えたいことをつたえれば良いと思う
9		こどもがどんなことを考えているのか、いつもわかろうとしている
10		こどもにはまず何が正しいかを教えている

〈分析〉

Iは、○の数を数えてください。IIは、奇数番号の○の数と、偶数番号の×の数を足して合計してください。

Iの○の数() + IIの奇数番号の○の数() + IIの偶数番号の×の数() = ()

Iは、こどもの自己肯定感の強さをはかっています。IIは、こどもの自己肯定感を育むいいかわりが奇数番号、よくないかわりが偶数番号となっています。では、親子のかかわりについて、合計数で判定しましょう。

■合計が14以上：その素敵なかわりがこどもの気持ちを受け止め、自己肯定感を高めます！

■合計が10～13：こどもといい関係ができています。こどもの微妙な気持ちの変化にも敏感に！

■合計が7～9：こどもをしっかり受け入れてみましょう。

こどもの笑顔が待っています！

■合計が4～6：こどもの立場に立って、こどもが嬉しいと思えるかわりを振り返ってみては？

■合計が0～3：こどもの思いに耳を傾けて、いっしょにいるという感じ合えるやりとりを！

こどもとの関係をふりかえり、こどものやる気につながる自己肯定感を育てていきましょう！

1年後、お子さんが2年生になる前に、このチェックにもう一度、挑戦してみてくださいはいかがでしょうか。

「今日ねえ、○○ちゃんがねえ、鉄棒にぶら下がれたんだよ」

「○○君ねえ、つみきで遊んでいるときにゆずってくれたんだよ」

「○○ちゃんはお絵かきがすごく上手なんだ」

「○○君は走るのがすごく速いんだ」

等々、友だちのことを自分のことのように喜んだり、ほめたりすることが多いこどもと、友だちについて不平・不満をよく言うこどもがいます。

こどもはいろんなことを吸収します。

そのお手本となるのがいつも身近にいる自分の親です。こどもが友だちや学校、遊びのことなどを肯定的に見て、よかったこと、楽しかったこと、面白かったことをたくさん語るの、家庭でも親がものごとを肯定的に見ることが多く、そのような話題が家族の中にあふれているからです。

自分のことだけでなく周りのことまで肯定的にとらえられるこどもは自己肯定感も育っていると考えられます。今のこどもは自己肯定感が弱いと言われています。自分に自信を持っていないのです。

小学校でこどもの様子を見てみると、

「とりあえずやってみよう」と言っても、進んで新しいことに挑戦しようとするこどもが少ないです。自分が確実にできるものにしか意欲を示さないように思います。「すぐにできる？」「簡単にできる？」が合い言葉のようになっています。

この不安感、自信の無さはこどもたちだけではあり

ません。保護者のみなさんにもある話なのです。

いつも自分のこどもを他のこどもと比較していませんか。

自分の子育てに自信がないと、比較することでしか自分のこどもの良さを確認することができないことが多いですね。他の子と自分の子をすぐに比較してしまう人は子育てに対する不安が根底にあると言われていきます。だから他のこどもの長所ばかりが見え、自分のこどもの良さが見えにくくなってしまいがちです。

いつも比べられ、自分の短所を指摘されて育ったこどもが自分に自信を持てるでしょうか。比べることでしか評価されないような子育ての中で育ったこどもが素直に友だちの良さを認め、受け入れられるでしょうか。自分自身に自信を持っていないこどもは、いつも友だちと比較して自分の置かれた位置や居場所を探すようになります。年齢が進むにつれてその傾向が強くなります。

こどもが自分に自信を持てる子育て、自己肯定感を育む子育て、

それはそんなに難しいことではありません。

まずは人と比べてこどもを評価しないことです。わが子のいいところをしっかりとほめてあげてください。努力を認めてあげてください。

こどものささいな成長を敏感に感じ、言葉で表現することによりこどもも自信をつけます。

笑顔とほめ言葉のあふれる家庭ではこどもの心も表情も豊かになるはずですよ。

チェックリスト I の解説

番号	○・×	解説
1		家庭に居場所があり、愛情に包まれている証拠です
2		自分はできるという思いが新たな意欲ややる気につながります
3		遊びの中で人間関係を含め様々なことを学びます
4		心が満たされていると周りにもやさしくできます
5		心の栄養を蓄えます
6		自分が大切にされているので他者も大切にできるのです
7		くじけそうになった自分を支えてくれるという安心感を感じます
8		喜びを共有してくれることにより自己肯定感が育ちます

チェックリスト II の解説

番号	○・×	解説
1		こどもの話を共感的に聞くことにより安心感を与えます
2		苦手を克服するより得意なものを伸ばすことが意欲や自己肯定につながります
3		親子の対話が生まれるし、多様な考え方を身につけることにもなります
4		比較して叱ることにより劣等感を植え付ける可能性が高くなります
5		やる気と自己肯定へつながり、苦手なことにも意欲をだす契機となります
6		こどもの気持ちを受け止めることと要求をすべて受け入れることは違います
7		こどもの言い分を聞くことにより自己反省にもつながります
8		一方的な伝達はこどもの感情とのズレをうみま
9		わかろうとする姿勢がこどもの成長を敏感につかむこととなります
10		こどもは間違いや失敗経験の中から学ぶことが多いです

学びと活動の基盤となる 小学校の集団生活への適応力となる
基本的な生活習慣・社会的な生活習慣をしっかりと身につけ学童期へ

学童期の育ちを支えて

幼児期の教育は、生活、遊びを通して人間形成の基礎(生きる力の基礎、学びの土台)が育てられたのです。学童期は、教科書による学びの中で勤勉性を身につけていきます。同時に、大きな集団生活の中で、たくさんの人と協力しあって生きる心情と態度が養われます。

新しい環境の中で、自制心、勇気、努力を精一杯発揮して家に帰ってきます。頑張ってきた心を、しっかりと抱きしめてあげましょう。まだ、これから自立と依存の心が共存する成長時期が続きます。いつも、愛され、信頼されている想いがこの時期の成長を支えているのです。



運動

45分間座り集中できる
こころとからだの力を!

友だちといっしょに遊びあえるこころとからだの力を!



食事

こころとからだをつくる

- 生活リズムの基本に朝食、夕食をおく
- 朝食は、学校生活のエネルギー
- 家族で楽しむ食事は、こころの自立のエネルギー
- こどもの食事は、将来の食生活の基礎づくり

睡眠

こころとからだを育てる

- 10時間程度のよい眠りで、脳とからだがつくられる(大人の睡眠とは異なる)
- 昼間のイキイキ笑顔は、前夜のよい眠りから
- 成長ホルモンの多量な分泌は、静か・消灯が必要条件(眠りを強くするホルモン[メラトニン]は、暗い所で多量が分泌)

おとうさん、おかあさん、身近な大人がして見せたり、言って聞かせたりすることがこどもたちの規範ある行動を育てるのです。

あいさつ・ルール

友だちづくり

身近な大人がモデル!

- 集団生活へのよりよい適応条件は、上手なあいさつとルールを守れる力!

こんなことも気をつけて

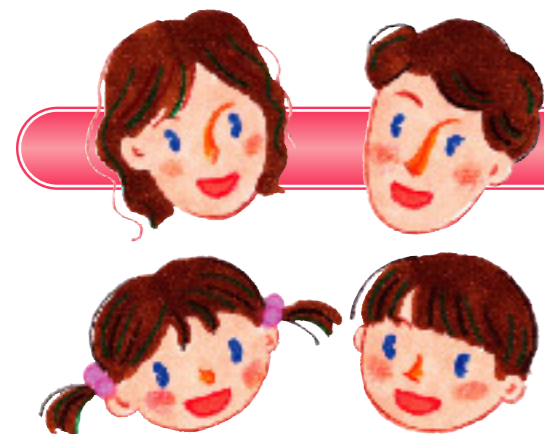
- 防犯ブザー・ゲーム機・カギなどのひもは、首に絡む危険性大。
- ランドセルは、重くないですか? 必要なものを準備して。
- 親子で事前に通学路を点検して、危険な場所では十分な注意を。
- 目をあわせ、人の話をしっかりと聞き、思いを言葉ではっきりと伝えられるかの確認を。
- 家庭での冷暖房は、学校での生活を考慮して。
- 和式トイレも使えますか?
- 利き手は無理に矯正しなくても大丈夫。
- 虫歯の治療も忘れずに。
- 時間的に、生活の流れを見通せる力を育てておきたい。
- いじめは、恥ずかしい行為。友だちづくりの支援を。



こどもが小学校に行くことで世界が広がるように、おとうさん、おかあさんの世界もそれとともに広がります。物事を知ったり、わかったりする楽しさは、まず親が率先してみせることで、こどもに伝わります。実は、こどもの学習の一番の基本は、「まね」をすることなんです。

こどもに口で言う前に

手本を見せてあげましょう！
いっしょにすることから
始めましょう！



親の背中から

こどもは「大人になったら、おとうさんのようになりたい、おかあさんのようになりたい」と思います。

親の役割

こどもの目標・モデル・家族が安心できるより所

- 親は、経済力ばかりでなく精神的にも安心を与えられる存在です。
- 親が先生との信頼関係を持つことがこどもの成長に良い影響を与えます。

家族の“きずな”がこどもの発達・成長の土台となります！

親として、こどもの気持ちを受け入れることが、こどものやる気につながります！

幼稚園児や小学生を対象とした調査で、親や先生に大切にされていると感じているこどもほど、勉強やいろいろなことへのやる気が育っていることがわかっています。

もっとも効果的な学習方法は、親がお手本をしめすことです！

親のようすをじっと見ていて、親が使った言葉を、その言葉を使うのに適切な場面で、見事に使うこどもをよくみかけます。一度も練習したり、間違えたりしないで、学んでいるのです！

こどもを大切に、いいお手本になることが、こどもの学びを支えます！



わが家のルールをつくろう

大切にしたいのは、こどもの生活リズムです。こどもと話し合って家族でルールをつくりましょう。

■起きる時間

時 分

朝ごはんはこどもの目覚まし時計！

■寝る時間

時 分

「寝る子は育つ」は科学的にも本当！

■夕食の時間

時 分

一家団らん、楽しい時間

■お手伝い

どんなお手伝いをしますか？

■本を読む時間

時 分から

家族で読書コミュニケーション！

■わが家のルール

わが家のルールを書きましょう！

家庭で本を読んでいますか？

こどもに本を読んであげていますか？

- 時間をやりくりして、こどもといっしょに本を読んでみませんか。
- 1日1回はテレビやゲームをやめて、本を読みましょう。
- ゲームはゲーム世界にこどもを閉じ込め、現実の世界での解決力を奪います。
- 本は、こどもに想像力や考える力を身につけさせ、豊かな感性や情操などを育みます。

読み終わった本のことを、こどもと話し合いましょ。

- 本の読み聞かせを通して、親子のコミュニケーションが生まれます。
- 親子のコミュニケーションは、こどもの不安感を和らげ、学校生活への適応を助けます。
- 新しい生活が始まろうとしている今、ぜひ家族で本を読みましょ！